

木島平村 村勢要覧



K i j i m a d a i r a V i l l a g e

木島平村の
ミライをつくる
BOOK

これは、木島平村の皆様と、
より良い村のミライをつくるための本です。

木島平村の将来像

誇りと愛着を育み、
一人ひとりが希望を持てる木島平
〜誰もが暮らしやすい持続可能な村〜

70年の歩み

19	15	11	07	03		
基本目標⑤	基本目標④	基本目標③	基本目標②	基本目標①		
【自治・協働・共生・交流】 持続可能な村をともに創る	【インフラ・交通・暮らし】 自然と調和し 安心して暮らせる	【産業】 多様な産業が活力を生み出す	【医療・福祉】 いきいきと健やかに暮らせる	【子育て・教育・文化】 安心して子育てでき 誰もが学び続けられる		
						
29	28	27	26	25	24	23
第6次総合振興計画——2015 これからの農村を生きたる	第5次総合振興計画——2005 村民と共に歩む道	第4次総合振興計画——1995 自然劇場 さじま平	第3次総合振興計画——1985 心の豊かさを実現	第2次総合振興計画——1977 自然災害を乗り越えて	第1次総合振興計画——1968 観光産業の発達	新村建設計画——1955 木島平村の誕生
						



基本目標①【子育て・教育・文化】

安心して子育てでき 誰もが学び続けられる

この村に生まれてよかったー。親も子どもも、心からそう思える地域になるために、木島平村では出産や子育ての支援をより充実させていきます。また、ふるさとで生まれ育った自分たちのことを誇りに思ってもらいたいという願いから、村独自の教育を推進。大人になっても学ぶ楽しさを実感できるように、生涯学習の場も積極的に作り、力を入れています。



ミライ 〈1〉 安心して子育てできる 環境づくり



出産前から、妊婦体験や沐浴指導もくよくなどを行い、不安なく子育てをスタートできるようサポートしています。保育園隣接の子育て支援室は、子どもも親もみんなが交流できるスペース。子育て支援コーディネーターも常駐し、悩みや心配ごとの相談も受け付けています。また、妊娠期から子育て期を通して、親子が健やかに暮らすことができるよう、各種検診や予防接種を充実させています。

ミライ
〈2〉

子どもの未来を育む
木島平型教育



他者との「協同」による「主体的・対面的で深い学び」を軸に、確かな学力と自立（律）性を育てています。また、小中学校では、田植え体験などの「ふるさと学習」を充実させ、豊かな人間性に加えて、郷土愛と誇りを持った子どもを育てており、学校・家庭・地域の役割とつながりを創り出す「コミュニティ・スクール」の推進に取り組んでいます。



おひさま保育園は「信州やまほいく」の認定を受けており、開放的な園庭や広い敷地、また近くの公園を活用し全身を使って過ごすことで、園児たちはさまざまな自然体験を通して豊かな感性を育むことができます。やまほいくの研修には、すべての保育園職員が参加しています。また、近隣の農家との連携によって野菜の栽培や調理などを通して、食育の充実も図っています。



ミライ
〈3〉

自然・地域教材を活かす、
「やまほいく」



復元した2号鉄剣
(渦巻文装飾付鉄剣)

農作物の吉凶を占う祭り行事で、「炎の奇祭」とも呼ばれる「柱松子」や、弥生時代唯一の鉄剣を出土した「根塚遺跡」、350年以上受け継がれる伝統工芸品の「内山和紙」といった、先人から受け継がれた有形無形の文化財を後世に引き継ぎながら、歴史や文化に触れることができる環境づくりを進めています。また、日頃から取り組んでいる文化・芸術活動の発表の場として、村民祭では芸能発表会を開催しています。



ミライ
〈4〉
芸術・文化活動の推進

ミライ
〈5〉
多様な学習機会と
スポーツの推進



「木島平村ふるさと大学」は子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人を対象にしています。水墨画や絵手紙、習字といった文化活動から、人権に関する啓発講座、文化財保護をテーマとした講演、空手やボッチャといったスポーツなど、多種多様な学びと運動の機会を提供しています。部活動の地域クラブ活動への移行にも対応し、子どもたちの体験機会を確保していきます。





雪、山、川、虫 豊かな自然を楽しみながら

村の中学を卒業後、松本市や首都圏などで暮らした後、34歳で村に戻ってきました。一番上の子が小学1年生で、3人目の子が今年生まれました。

ここでは、雪も楽しめるし、夏は川に入ったり虫を見たりもできます。ただ土手を走っているだけでも、景色がきれいで気持ちがいい。豊かな自然がすぐそこにあるので、ここで子育てしたいと思いました。

子どもが通っている保育園も、とても丁寧な園での様子を教えてくれるので安心して預けられます。



ウィンタースポーツや虫とり、お祭りやお年寄りとの交流など、村で体験したことや、思い出はいいものばかりだったと振り返る。「もう少し子どもが大きくなったら、キャンプにも行きたい」と高森さん。



ミライの
タネを蒔く人

①

小学校教諭
サッカークラブ指導者
高森 章吾さん



穏やかな環境で安心して 子育てできている

岐阜の出身なのですが、木島平の地域おこし協力隊になったことで、村に移住しました。その後結婚し、1歳の娘を育てています。子育て支援室が開放されたり、予防接種の予約が要らなったり、細やかなサポートがあります。保育園の先生とのコミュニケーションも良く取れ、安心してお願いすることができそうです。

もともと好きだった登山やトレイルランニングを楽しむには最高の環境です。日常が穏やかで、かと言って生活に困るような不便さもない「ちょうどよさ」も気に入っています。



広い敷地内でサクランボやゲミなどが収穫できる「おひさま保育園」。JA青年部と一緒にサツマイモを育てたり、ヨモギとりをしてパンに練り込み給食で食べたりと、食育にも力を入れている。



ミライの
タネを蒔く人

②

地域おこし協力隊
木村 未都さん



誰もが生きがいを持ち、みんなで支え合いながら、生き生きと暮らせる村へ。そのためには、健やかな心と体を保つことが大切です。病気の予防のみならず、交流の場をつくり、ボランティア団体の活動をサポートしたりしながら、課題を抱えた人に必要な支援が行き届く「支え合える村づくり」を進めています。

基本目標②【医療・福祉】

いきいきと
健やかに暮らせる



ミライ
〈1〉
みんなので支え合う
地域づくり

保育園児と介護施設のお年寄りが交流しながら花を植え、地域を彩っています。こうした活動は「地域のお宝発表会」で紹介され、地域を支え合う輪が広がっています。また、大町地区にある「寄りし来らし 夢ひろば」では、ながの農協女性部みゆき地区木島平支部の有志を中心に運営され、お菓子や調味料などの食品を販売し、手作りの作品が飾られ、ときには軽トラ市が開かれて、地元住民の交流の場となっています。



ミライ
〈2〉
いつまでも安心して暮らす



「いきいき広場」や「集まろう！通いの場ピース」では、レクリエーションや音楽鑑賞など、みんなで様々な活動を楽しんでいます。また、住民主体のサロンもあり、貴重な介護予防の場になっています。認知症や人生会議についての講演会では、安心して暮らすためにどうしたらよいか、お互いに気持ちを話しながら考えを深めています。



ミライ
〈3〉

誰でも受けられる環境を
必要な医療を

乳幼児の健康診断や定期予防接種、成人の健康診断を実施する木島平村保健センター、木島平村診療所（写真上）や木島平クリニック（写真右）、芳川歯科医院（写真左）が地域医療を支えています。また北信総合病院（中野市）や飯山赤十字病院（飯山市）と連携し、地域の中核医療機関を確保・充実させています。休日および夜間など診療時間外の救急患者を受け入れる病院への支援を行うなど、地域全体の医療体制を確保しています。



ミライ
〈4〉

健康長寿の
村づくり



「自分の健康は自分で守る」意識を醸成し、村民の健康づくりを推進しています。運動を習慣化し、体力向上と健康を目指す生涯学習講座の開催や、転倒骨折の防止、運動機能低下の予防のための運動教室を実施しています。





ミライの
タネを蒔く人

③

体操教室「ルリエ」
メンバー

勝山 美緒さん

健康な体づくりで人の繋がりも生まれた



指導に当たるのは健康運動指導士の林部美代子さん。わかりやすさに加えて、軽妙なトークも人気を集める理由の一つ。家に帰っても自分でできる運動を覚えてもらうなど、続けやすさを大事にしている。



「ルリエ」とはフランス語で「繋がり」のこと。「支援金がなくなり、参加費が上がった今も、参加者どうしが繋がり、教室が続いていることがうれしい」と勝山さん。参加者の多くは60～70代。



「人によって必要な運動が違うところが、指導の難しいところ」と勝山さんは話すが、リピート率は70%以上。口コミで参加者が参加者を呼んでくるという好循環が生まれ、今では約20名の登録者がいる。



「健康運動実践指導者」という資格を生かして、村のためにできることはないだろうかと考え、同じ志を持つ3人で村の支援金を活用して体操教室を始めました。ボールや骨盤底筋を鍛えるためのポールなどを使いながら筋トレやストレッチといった運動指導や、ペップトーク※が学べる講演会を開催してきました。

目指してきたのは、自立・自律した体づくりです。コロナ禍もあって参加者を集めるのは大変でしたが、「腰が伸びるようになった」「関節が曲がるようになった」などといった声を聞き、やってきてよかったと思いました。

参加者の皆さんからの要望で、体操教室は現在も続いています。

※ペップトークとは、いろんな場面で自分や相手を前向きに励ます声かけのこと。

木島平村「ならでは」の資源を大切にしています。豊かな自然や食などを活用した観光産業をはじめ、農業や林業といった1次産業の振興をサポートするほか、地域に根ざしたビジネスがさらに飛躍していくため、チャレンジしやすい環境を整えています。担い手の育成にも力を注いでいきます。



基本目標③【産業】

多様な産業が活力を生み出す



ミライ
〈1〉

地域資源を活かした
観光地域づくり

道の駅 FARMUS 木島平は、農産物直売所やそば処・カフェなどが人気のスポット。高社山の北斜面に隣接する「スノーリゾート ロマンの神様」と「The きじまスノーパーク」の2つのスキー場では、初心者から上級者まで楽しめるゲレンデと上質なパウダースノーが魅力です。志賀高原の北には、日本一とも称される「カヤの平高原」が広がっています。



ミライ
〈2〉
新たな産業の創出



村の約8割を森林が占めており、北信州森林組合や製材業を営む企業が村の森林事業を支え、木材の利活用が進められています。また、木島平村で50年以上続く老舗の漬物店の野沢菜や、養蜂農家が作るはちみつなど、村の特産品が人気を集めています。就農支援や創業支援が充実し、特産品開発や観光誘客イベントへの資金援助も行われ、地域に根ざした新たな産業が創出されています。

ミライ
〈3〉
自慢の木島平米を全国へ



木島平村はお米の産地として知られ、食用のお米だけでなく、日本酒の原料となる酒米の栽培も盛んです。食用米においては、特別栽培米を育てる農家で構成される「木島平米ブランド研究会」があり、村が定めた厳しい品質基準をクリアしたお米を「村長の太鼓判」として認定しています。酒米では、幻の酒米と呼ばれる「金紋錦」が40年以上にわたり栽培され、石川県にある福光屋をはじめ、近年では県内にある多くの酒蔵が金紋錦を使用しています。また地元産の酒米「ひとごち」と名水・龍興寺清水で仕込んだ地酒「内山乃雫」は、ふるさと納税の返礼品としても親しまれています。

ミライ
〈4〉

多様な担い手と
先端技術で農地を守る



農家の高齢化や後継者不足が進むなか、農業の担い手の確保・育成を支援するため、新規就農者や後継者に奨励金交付や、農業研修者への知識や技術取得のための就農里親制度・研修支援事業補助、新規就農者への営農開始支援補助などを行っています。また、「堆肥センター」では、牛ふん堆肥を製造し、村内でそれらを使用した資源循環型農業を進めています。今後、先端技術を活用したスマート農業の導入支援を行い、農作業の効率化、省力化を目指します。



ミライ
〈5〉
300年先の森づくり



1955年（昭和30年）、村はカヤの平高原の国有林の一部を借り受け、ブナ林を開墾して「カヤの平高原牧場」を造成しました。最盛期には150頭ほどの乳牛が育成されていましたが、近年は頭数が減少し、使われなくなった牧草地が広がっています。そこで2013年（平成25年）から民間企業や姉妹都市調布市の方々とともに、こうした土地をブナの森へと戻す「ブナの森づくり」に取り組んでいます。2024年（令和6年）には、初めて0.92haを国有林に返地しました。300年後の世界自然遺産を目指して、今後も活動していきます。





やればやるだけ結果になる きれいな水と澄んだ空気 最高の米を

2024年（令和6年）、26歳で就農しました。小さいころから父が米作りをしている姿を見てきて、農業に関心がありました。大変だと聞いてもいましたが、自然の中で働くことに魅力を感じて決意しました。10haの田んぼで米を作っているほか、きゅうりも栽培しています。きれいな水と空気があるので米作りにも野菜作りにも最高の環境だと思います。やればやっただけ結果につながる仕事なので、挑戦を続けていきたいですね。今後、規模拡大に力を入れていきます。

木島平の川や山で遊んできたため、自然とふれ合うことが大好きだったことも、就農の決断の背中を押した。工場で働いていた会社員時代と違って、自分のペースで仕事ができることも気に入っている。木島平の米は評価が高いため、「そういう意味でも米農家をやりやすい環境」と話す。SNSを駆使して販路を開拓中。



ミライの
タネを蒔く人
④
農家
(TANAKA FARM)
田中 剛さん

北信濃の森を守るために木材の会社ができること



ミライの
タネを蒔く人

⑤

瑞穂木材株式会社
代表取締役社長
宮崎 淳貴さん

山で伐採された丸太を購入して加工し、ハウスメーカー・工務店・大工さんに販売するのが仕事です。北信濃の山にある木は、70年前に先人が私たちに残してくれたもの。それらを有効活用しながら、次の世代のため新たな木を植え続けるのが理想のサイクル。しかし、そこにはさまざまなハードルがあります。それでも私たちはこの地で育った会社として、資源を最大限に利用し、そして、次の世代にバトンを渡せるような地域循環型企業を目指し続けています。

ネット通販で販売している、木を原料にしたエッセンシャルオイル。工務店などのSNS運用を支援するグループ会社もあり、さまざまな挑戦を続ける。「大事なものを変えないためには、変わらなければいけない」と話す。

自然と調和し安心して暮らせる



交通、情報、防災といったインフラを整備し、将来も安心して暮らせる村づくりを進めています。また、移住者・定住者を増やすため、住みたくなる村を目指すと同時に、プロモーションにも力を入れています。移住者向けの空き家対策にも同時に取り組んでおり、近年、移り住む人は増加傾向にあります。

ミライ 〈1〉 自主防災組織の整備・充実



村内に設置された屋外スピーカーを活用した村ぐるみ防災訓練の実施や、災害備蓄品目の見直しを進め、要配慮者である高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児等をケアできる体制づくりを進めます。また、住宅や物置の雪下ろしの負担軽減や、作業中の転落事故を防止するため、克雪化改修に係る費用に対して一部補助金を交付しています。作業の安全確保についても啓発・周知を進めています。



ミライ
〈2〉

誰もが安心して暮らせる
交通環境

生活道路の安全を確保するため、道路・河川の機能を保全し、適正に管理しています。特に子どもや高齢者など歩行者の安全を確保するため、歩道を含めた道路環境の改善に努めています。

また、広域的な移動手段を確保するため、デマンド交通やシャトル便の運行とともに地域の交通事業者と連携し、誰もが安心して暮らせる交通環境を目指します。



ミライ
〈3〉

体験住宅の活用で
村の魅力を実感



『木島平村田舎暮らし体験住宅』は村への移住を検討している人を対象とした自炊式の一軒家で、庚棟と大町棟の2棟があります。いきなり移住する前に村の暮らしが気軽に体験できるよう、積雪のある冬を含め四季を通じて利用できます。滞在中には、希望に応じて学校見学や就農体験、先輩移住者との交流など臨機応変に対応しています。



ミライ
〈4〉

クリーンエネルギーで
未来を守る



村の豊富な資源である「水」を活用した馬曲川発電所を運営するほか、民間事業者の小水力発電所の設置に、積極的に協力をしていきます。また、木島平村地球温暖化対策実行計画のCO₂排出量削減目標を達成するため、一人ひとりが地球温暖化を自分ごとと感じてもらおうよう、意識醸成を図っています。公共施設への太陽光発電設備設置の推進のほか、公用車の環境配慮車両への更新などでも地球温暖化防止に努めます。



ミライ
〈5〉 村の原風景を守り伝える



ごみの減量化と再資源化に向けて、生ごみ処理機器などの購入費に対して補助を行うほか、ごみの減量化・再資源化に効果的な施策を検討するため、分別状況の把握を目的とし組成調査を行なっています。また、在来種を脅かす外来植物の早期駆除を実現するため、広報紙やCATVを通じて啓発しています。不法投棄の早期発見、未然防止のため、定期的なパトロール及び全村一斉環境保護行動も実施しています。





ミライの
タネを蒔く人

⑥

パン工房〇経営
宮田 伸也さん

事業は地球にやさしく パンは体にやさしく



店の隣接地に畑を借り、有機栽培によりハーブやトマトを栽培、パンにも使用している。写真は人気のクリームコロネ、チョコバナナパン、カレーパン。(パンの種類は変わることがあります。)



「地球にやさしく、体にやさしく、食品を廃棄しない」を経営の柱に据えている。「循環する社会を」という願いも込めて店名を「〇(まる)」とした。



業種柄、オープンや大型冷蔵庫なども稼働しており、電気自動車も利用しているが、太陽光パネルのおかげで月の電気代は7,000～8,000円とのこと。

子どもが独立したのを機に、一生続けていける仕事を持ちたいと考え、パン職人の道に進みました。近くにパン店が少なく、景色のよさなども気に入ってこの土地で開業しました。パンは売れる量だけ作り、決して余らせないのが信条です。

パンの製造には電力をかなり使うので、自然エネルギーを利用できるように太陽光パネルを設置しました。企業が環境に配慮した経営をしないと社会基盤は崩れてしまいます。特別なことではないと思っています。包装を紙にするなど、脱プラスチックにも取り組んでいます。今後は地域の学校や農家さんなどと連携して、活動の幅を広げたいと考えています。



持続可能な村をともに創る

集落単位での活動を持続していくため、時代の流れに対応した地区づくりを支援しています。下高井農林高校や、姉妹都市・調布市などとも連携しながら、関係人口を増やしていき、みんなが主体的に参加したくなる村を目指します。また、村が存続していくために、適正な財政を維持し続けます。



ミライ
〈1〉

地域の活力が
村の元気をつくる



村の夏まつりや道祖神祭り、秋祭りといった古くから伝わる催しに加えて、トレイルランニングレース「奥信濃100」などの自然体験型イベントといった、村の資源を活用した新たな取り組みが生まれています。子どもからお年寄りまで、村内外問わずたくさんの人たちを巻き込みながら、こうした地域に活力を与えてくれる活動をサポートし、関係人口を増やしていきます。

ミライ
〈2〉

多様性を認め合う
地域社会の実現



小中学生から人権ポスターを募ったり、「人権が尊重される村民の集い」を開いたり、誰もが参加できる取り組みを通じて、人権に対する意識を高めています。あらゆる差別をなくすため、学校、職場、地域でも人権教育を推進し、差別の不当性についての理解や正しい認識を深めています。人権擁護委員が相談員となり「心配ごと相談」を実施するほか、村の人権推進室でも人権相談を行なっています。



ミライ
〈3〉
つながる都市との交流



木島平村と調布市は1985年（昭和60年）に姉妹都市盟約を締結して以来、スポーツ、文化、農産物などを通じて交流を深めてきました。交流には調布市の「調布・木島平交流クラブ」や木島平村の「調布友の会」といった住民団体も関わりながら、木島平村での農業体験ツアーやスキーツアー、調布での花火大会観覧ツアーを開催しあうなど、親睦が図られています。また、調布市内にある調布銀座商店街内の木島平村のアンテナショップ新鮮屋では、村の特産品や農産物の販売などを行っています。



ミライ
〈4〉

産学官連携による
関係人口の創出



早稲田大学と木島平村が協力し、学生たちが地域を訪れて住民と交流しながら、地域の課題解決に取り組む産学官連携のワークショップをはじめ、複数の大学と連携協定を結び、学生たちとの連携を強めることで継続して来村してもらえぬ取り組みを進めています。2022年（令和4年）には4件の連携事業が実施されました。2028年（令和10年）に6件まで増やすことを目標としています。こうした事業をきっかけに村のことを知り、移住する若者も現れています。



全国大会で毎年入賞を果たしているそば部をはじめとした特色ある下高井農林高校の活動の輪を広げ、魅力発信の支援をするとともに、高校生のアイデアや力を村づくりに取り入れていきます。同校と保育園、小中学校をはじめ、幅広い世代との連携・交流も推進していきます。また、これまで村の道の駅 FARMUS 木島平で同校の「農林市」を実施するなど、道の駅を農業の6次産業化の学びの場としても活用しています。

ミライ
〈5〉 地域高校の魅力で村づくりに



地域とともに、 100年先もおもしろく

2021年（令和3年）に、トレイルランニングの大会「奥信濃100」をスタートさせました。コロナ禍という逆風のなかで、村のシンボルでもあるスキー場やホテル・パノラマランドが存続の危機にあると知ったことがきっかけでした。大会を通じて地域にもう一度にぎわいを生み、この土地の自然や文化という宝物を未来へつなごう。そんな思いを込めて名前に「100」をつけました。

100年先もおもしろい地域であってほしい。その願いを胸に、参加者と地域の人々が交わり、自然とともに歩むことで、未来へつながる大会を育てていきたいと考えています。



初回約700人だった参加者が2025年（令和7年）には1600人を超えた。最長100kmのコースは、田園やブナの原生林、旧街道などさまざまな風景のなかを走る。



ミライの
タネを蒔く人

⑦

(有)スポーツハイム
アルプ代表/
奥信濃100
実行委員長

山田 琢也さん



使命感よりも楽しさ ふるさとを思う きっかけになれば

2024年（令和6年）に、コロナ禍で開催中止が続いていた「大塚山夏祭り」を6年ぶりに復活させました。

自分たちが子どものころは、北信最大の花火（2尺玉）が上がったりして、楽しかったことを強烈に記憶していました。だから、「やらなきゃ」という使命感よりも、「楽しみたい」という気持ちが強かったです。今の子どもたちにも、いい思い出をつくってあげて、大人になってからふるさとを思い出し、帰ってきたりするきっかけになればいいですね。



中心になったのは20～40代の有志。村外に出ている区の出身者なども含め50人超が運営側に加わり、過去最高の協賛金が集まった。「区という枠にとどまらず、いろんな方に関わってもらいたい」と話す。



ミライの
タネを蒔く人

⑧

大塚山夏祭り
実行委員長

小林 浩紀さん

1955

1967

新村建設計画
木島平村の誕生



【昭和34年】
第2代村長 湯本安正



【昭和30年】
初代村長 森次郎

- 1959 ● 台風7号、15号による被害8605万円
昭和34年 ● 湯本安正氏、第2代村長に就任
● 中部小学校、第1期改築工事完了
● 木島平民謡が誕生
- 1960 ● ふたば保育園新築
昭和35年 ● 樽川橋、永久橋に架替え完成
● 中学校、産業技術教室完成
● 第3期上堰水路改良工事完成
● 道路整備用タンパカー導入
● 中部小学校、第2期改築工事完了
- 1961 ● 初の空中防除(442ha)実施
昭和36年 ● 第2室戸台風による水害発生
● 農業機械化ステーション設置
● 馬曲の芳川英二氏一家、南米に移住
● 行政事務改善に着手、行政機構改革
- 1962 ● あいおい保育園新築
昭和37年 ● 高社山麓で開拓パイロット事業着工
● 農業構造改善事業の計画地域に指定される
● 3農業協同組合合併、木島平村農協誕生
● 平和橋、永久橋に架替え完成
- 1963 ● みずほ保育園、こぼと保育園新築
昭和38年 ● 大塚沖基盤整備事業(12.5ha)着工
● 木島平スキー場オープン、スキーハウス完成
● 生活改善推進協議会、公営葬儀開始
● 農林高校本館完成
● 中部小学校第3期工事完成(工費637万円)
● 特別豪雪地帯に指定
- 1964 ● 第1スキーリフト完成
昭和39年 ● 農業構造改善事業着工(工費9500万円)
● 農業共済組合を村に移管
● 消防団、日本消防協会から表彰旗を受ける
● 平沢橋、永久橋に架替え完成
● パイロット開拓事業の工事完成
- 1965 ● 第2スキーリフト完成
昭和40年 ● 村民健康管理検診事業開始
● 農林高校体育館完成
● 岳北衛生施設、火葬場施設両組合発足
● 木島平村指定金融機関、農協に設定
- 1966 ● 役場新庁舎完成(工費4300万円)
昭和41年 ● 池の平地区に水道敷設
● 飯山市と一部事務組合による衛生センター開設
● カヤの平高原で全国学生キャンプ大会開催
● 松代地震で戸立岩分校にプレハブ校舎建設
- 1967 ● 史上最高の大豊作で米4万俵を出荷
昭和42年 ● 村内3小学校のプール完成
● 大塚沖土地改良事業完成
● 村直営舗装工事開始
● 広域行政で火葬場建設

- 1955 ● 昭和30年2月1日 木島平村誕生
昭和30年 ● 往郷地区に県下初の有線放送施設完成
● 木島・中野線バス開通
● 役場庁舎の新館増築
● 森次郎氏、初代村長に就任
● 山口橋、永久橋に架替え完成
● 中学校特別教育兼寄宿舎完成
● 可搬動力ポンプ6台導入
- 1956 ● あさひ保育園新築
昭和31年 ● カヤの平牧場開設
● 有線放送施設、全村に完備
● 上木島地区の上水道事業完成
● 幹線道路(大沢～大橋線)完成
● 北部小学校改築
- 1957 ● 新農村建設事業指定される
昭和32年 ● 往郷地区上水道事業完成
● 新村建設の実績を評価され内閣総理大臣賞受賞
● 中学校プール完成
● 可搬式動力ポンプ3台導入
- 1958 ● 穂高地区上水道事業完成
昭和33年 ● 中学校、産業技術指定校となる
● 樽川、馬曲川の災害復旧事業完成(工費2億4000万円)
● 向原畑地のかんがい、工事実施



【昭和30年】三村合併により、木島平村誕生



【昭和31年】有線放送施設、全村に完備



【昭和36年】初の空中防除(442ha)実施



【昭和41年】役場新庁舎完成



【昭和38年】木島平村スキー場オープン



【昭和47年】平沢・馬曲地区にスクールバスが運行



【昭和45年】木島平民謡レコード化



【昭和47年】糠塚分校閉校



【昭和47年】村民運動会復活



【昭和50年】村歌・村花制定

- 1968 ● 林業構造改善事業が指定される
- 昭和43年 ● 第3スキーリフト完成
- 須坂帝通、昭栄電子工業進出
- 交通災害共済発足
- 農業振興地域に指定
- 1969 ● 7.6災害(水害)に見舞われる
- 昭和44年 ● 有線放送自動化
- 青年団、再発足
- 木島平地域湛水防除事業着工
- 1970 ● 米の生産調整開始
- 昭和45年 ● 奥志賀スノーバー林道着工
- 馬曲で温泉開発の調査
- 村民保養所、野沢温泉村にオープン
- 木島平民謡レコード化
- 湯本安正村長、県町村会会長就任
- 1971 ● 第4スキーリフト完成
- 昭和46年 ● 栄町区誕生
- 総合グラウンド完成
- 近隣7市町村、広域市町村圏に指定される
- 県道山ノ内谷沢飯山線、全線舗装完成
- 過疎地域に指定される
- 1972 ● 戸立岩、糠塚両分校が閉校
- 昭和47年 ● 岳北農産物総合センター完成
- 清水平林道、全線開通
- 村民運動会復活
- 高社山麓で落雷により3人が犠牲
- 振興山村地域に指定される
- 1973 ● 村民会館完成
- 昭和48年 ● 特別養護老人ホーム望岳荘、第1期工事完成
- 岳北消防本部発足
- 桜ヶ丘住宅団地造成
- 小路水道水源拡張
- 第5スキーリフト完成
- 衛生センター、拡張第2期工事完成
- 1974 ● 湯本安正村長、全国町村会副会長就任
- 昭和49年 ● 木島平村社会福祉協議会発足
- 山間地で4mを超す大雪
- 芳川勝枝さん、中国から永住帰国
- 1975 ● 村体育館完成(工費1億4500万円)
- 昭和50年 ● 村花に「福寿草」制定
- 特別養護老人ホーム望岳荘、第2期工事完成
- 1976 ● 農村総合整備モデル事業に指定される
- 昭和51年 ● カヤの平高原自然休養林オープン
- 電話自動交換局完成、有線の公社電話接続廃止
- 歯科診療所開業
- わかくさ保育園開園、通園通学バス「わかくさ号」運行
- 除雪センター完成

木島平村70年の歩み

1968
1976

第1次総合振興計画
観光産業の発達

- 1977** ● 2年連続の豪雪で災害救助法の適用を受ける
昭和52年 ● 奥志賀スーパー林道完成
● カヤの平高原へ夏期臨時バス運行
● 北部小学校で火災
● 部落解放同盟長野県連合会木島平村支部設立
● 南部駐在所、庚から大町へ新築移転
- 1978** ● ひまわり保育園完成、あさひ・あいおい両保育園閉園
昭和53年 ● 村営バス運行開始
● 常陸宮殿下ご夫妻、望岳荘をご慰問
● 村消防団、消防庁長官賞(竿頭綬)受賞
● 村道2号線(大沢〜大橋線)改良工事完成
● やまびこ国体炬火リレー行われる
- 1979** ● 中央グラウンド完成
昭和54年 ● 中学校新校舎完成(工費3億6275万円)
● 同和集会所完成
● 第1回交通安全村民大会開催
● 結婚相談所開設
● ロータリー除雪車購入
● 第3スキーリフト延長
- 1980** ● 中央グラウンドに夜間照明施設完成
昭和55年 ● 第1回村民祭開催
● 冷夏で農作物に1億800万円の被害
● 山口橋の改良架替え工事完成
- 1981** ● 台風15号で樽川・馬曲川が氾濫、総額2億1000万円の被害
昭和56年 ● 栄村との村界確定
● 新保養所に野沢温泉「かど屋」を借り通年開所
● 防災行政無線局が開局
- 1982** ● さくら保育園完成、すみれ・ふたば両保育園閉園
昭和57年 ● 台風10号で2億2600万円、台風18号で5億4700万円の
大災害
● 堆肥製造施設完成
● 馬曲温泉掘削開始
● 台風18号時の活躍で村消防団に建設大臣表彰
● 馬曲に野天風呂完成
- 1983** ● 若者センター完成
昭和58年 ● 台風10号で家屋や農地に被害
● 第6ペアリフト完成
● 議員定数2名削減し16名へ改正
- 1984** ● 4市村による岳北農業共済組合発足
昭和59年 ● 新農業構造改善事業特別型事業に指定される
● 第7ペアリフト完成
● 馬曲温泉野天風呂オープン
● 39年ぶりの豪雪



【昭和54年】年少女マラソン大会



【昭和55年】第1回村民祭



【昭和57年】台風18号災害 飯山市木島水没



【昭和57年】馬曲温泉掘削開始



【昭和58年】台風10号で家屋や農地に被害

木島平村70年の歩み

1977
1984

第2次総合振興計画
自然災害を乗り越えて

1985 1994

第3次総合振興計画 心の豊かさを実現



【昭和60年】第1回夏まつり開催



【昭和60年】調布市と姉妹都市盟約締結



【昭和61年】高速4人乗り第8スカイフォーリフト完成

- 1985** ● やまぶき保育園完成、こぼと・みずほ両保育園閉園
昭和60年 ● 調布市と姉妹都市盟約締結

- 調布市木島平山荘完成
 - 第1回夏まつり開催
 - 収藏品502点を収めたタイムカプセル記念塔完成
 - 第6ペアリフト沿いにナイター照明施設完成
- 1986** ● 台風15号の集中豪雨で中町、西町区を中心に農地、道路に1億8730万円の被害
昭和61年 ● 昭和57年台風18号の災害復旧で樽川、千曲川堤防工事完成

- 高速4人乗り第8スカイフォーリフト完成

- 1987** ● 高山盛男氏、第3代村長に就任
昭和62年 ● 南部小学校完成(工費4億6130万円)

- 農業技術拠点施設(グリーンセンター)完成
- 内山手すき紙体験の家完成
- 第1号名誉村民に湯本安正前村長

- 1988** ● 「わか村は美しく運動」スタート
昭和63年 ● 馬曲温泉公園オープン

- 第1回木島平村スカイスポーツフェスティバル開催
- 調布市と災害援助協定調印
- 学校給食センター完成

- 1989** ● ホテルの保全で柳久保地区が環境庁の「ふるさとといきもの里」に選定
平成元年 ● 馬曲温泉いこいの家オープン

- 大明神砂防ダム完成
- 樽滝地籍道路橋梁改良工事完成
- 第10ペアリフト完成

- 1990** ● 自然保護条例を制定
平成2年 ● スキー場に人工降雪機導入

- 「からす踊り保存会」設立
- 雪不足でカヤの平からスキー場に11tダンプ1500台分の雪を運ぶ

- 1991** ● 公共下水道第1期計画区認可
平成3年 ● 望岳荘短期保養施設完成
- 北部小学校完成(工費7億1633万円)
 - いいやまみゆき農協の合併
 - 防災ダム着工

- 1992** ● デイサービスセンター完成
平成4年 ● 信州バス木島平線運行開始

- ケヤキの森公園にテニスコート完成
- 村行政機関で完全週休2日制始まる

- 1993** ● 第3セクター木島平観光株式会社設立
平成5年 ● ケヤキの森公園に多目的屋内運動場完成
- ふれあいの園事業着工
 - 冷夏で農作物に1億4094万円の被害
 - 国道403号認定される
 - 特定農山村地域に指定される

- 1994** ● ケヤキの森公園オープン
平成6年 ● 山頂リフト夏山営業開始
- 木島平浄化センター完成
 - 中部小学校完成(工費11億2562万円)
 - 池の平第2ペアリフト完成
 - 干ばつ被害1億617万円



【昭和62年】
第3代村長 高山盛男



【昭和63年】馬曲温泉公園完成





【平成9年】ジャンプ競技場完成



【平成8年】根塚遺跡から鉄剣出土



【平成7年】
第4代村長 柳澤萬壽雄

- 2001** ● ルクセンブルク大公国ディーキルシュ市長来村
平成13年 ● 木島平村堆肥センター完成
● 平和橋が完成
● 特別養護老人ホーム望岳荘移転工事完成
- 2002** ● 若者センター内に「ちっちゃな図書館」完成
平成14年 ● ルクセンブルク大使夫人による料理教室開催
● 長野電鉄木島線廃線
● ふるさと応援団木島平会発足
● 馬曲温泉入湯者300万人突破
● ふう太河童の川普請始まる
- 2003** ● 飯山市・野沢温泉村との3市村合併問題研究会発足
平成15年 ● 精神障がい者憩いの家「フレンズ」開所
● 木島平ジュニアサッカー場オープン
● やまびこの丘公園内にグリア園完成
● 調布市にアンテナショップ「新鮮屋」オープン
- 2004** ● 村議会3月定例会で「合併はせず、自立の村づくりを進める」ことを宣言
平成16年 ● 「有機の里づくり」が農林水産大臣賞受賞
● ルクセンブルクから中等学校生来村、村内でホームステイ
● 木島平ジュニアサッカーフェスティバル開催
● 馬曲「郷の家」完成
● 台風23号直撃、宮ノ島・市之割・谷地などが冠水
● 中町展示館完成

- 1995** ● 柳澤萬壽雄氏、第4代村長に就任
平成7年 ● 村のシンボルマーク決定
● 保健センター着工
● 大塚沖再圃場整備着工
● 村の木「けやき」制定
● ホテル・シュエネスベルク完成
● 池の平第1クワッドリフト完成
- 1996** ● 保健センター完成
平成8年 ● 出前デイサービス始まる
● 村営バス廃止
● 根塚遺跡から弥生時代の鉄剣出土
● 農業振興公社発足
- 1997** ● 第1回木島平カップ国際スキーアーチェリー大会開催
平成9年 ● 診療所新築工事完成
● ジャンプ台完成
- 1998** ● 長野オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが行われる
平成10年 ● やまびこの丘公園完成
● 根塚遺跡から弥生時代の「大」と刻まれた土器を発見
● 上木島防災ダム完成
● 第3セクター、パノラマランド木島平開業
● ルクセンブルクのアンリ皇太子夫妻来村
- 1999** ● クロスカントリー競技場完成
平成11年 ● 樽川橋ポケットパーク完成
● 長野県木と緑のふれあいフェスティバルが開催
- 2000** ● 介護保険制度スタート
平成12年 ● 高齢者福祉総合センター「福寿苑」完成
● 国際フォーラム「根塚遺跡と加耶」開催
● 消防団南部分団第2部、ポンプ操法大会で32年ぶりに県大会出場
● 戸籍がコンピューター化

木島平村70年の歩み

1995
2004

第4次総合振興計画
自然劇場 きじま平



【平成15年】木島平ジュニアサッカー場オープン



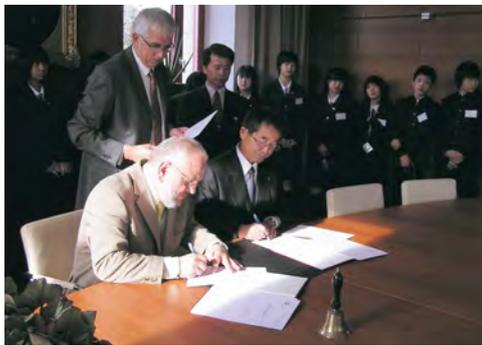
【平成15年】アンテナショップ「新鮮屋」オープン



【平成11年】クロスカントリー競技場完成



【平成23年】ルクセンブルク芸術家活動拠点に関する盟約の締結



【平成17年】ディーキルシュ中等学校と姉妹校盟約を締結



【平成19年】
第5代村長 芳川修二



【平成24年】おひさま保育園開園

- 2011** ● ルクセンブルク芸術家活動拠点に関する盟約を締結
平成23年 ● 八丈町の小学生との交流が始まる
- 3.11東日本大震災、3.12長野県北部地震が発生
- 地上デジタル放送開始
- 平成23年度瑞穂の国美味しいお米コンクール関東甲信越静大会inきじま平開催
- 2012** ● 「おひさま保育園」開園
平成24年 ● 名誉村民湯本安正さん逝去
- 全国村長サミットin木島平を開催
- 馬曲温泉開湯30周年
- 第14回米・食味分析鑑定コンクール・国際大会を開催
- 2013** ● 「やまぶきハイツ」完成、入居開始
平成25年 ● 「かに沢団地」完成、分譲開始
- 村、糠千地区、金沢大学が集落づくり協定を締結
- ルクセンブルク彫刻作家、ベルトラン・ネイさん来村、創作活動
- 「農村交流館（ふるさと資料館）」オープン
- 3市村主催の「第1回北信州ハーフマラソン」を開催
- 2014** ● 國學院大学と共同研究教育事業の協定を締結
平成26年 ● 「村民会館」閉館 42年の歴史に幕
- 特別養護老人ホーム「里山の家 木島平」開設
- 早稲田大学教務部と連携・協力に関する協定を締結
- 東京農業大学と地域活性化・教育研究充実のための協定を締結
- 東京大学大学院教育学研究科と協定を締結

- 2005** ● 木島平中学校とディーキルシュ中等学校が姉妹校盟約を締結
平成17年 ● 有線放送に代え、情報通信施設を整備
- 第1回全国和算研究大会木島平大会開催
- 木島平村自立プランを策定
- 2006** ● 平成18年豪雪で災害救助法適用
平成18年 ● デマンド交通運行開始
- 北部・南部駐在所が統合され木島平駐在所完成
- 小学校保育所統合等検討委員会が1校1園を答申
- 下高井農林高等学校創立100周年
- 2007** ● 芳川修二氏、第5代村長に就任
平成19年 ● 地域包括支援センター発足
- ルクセンブルクの芸術家トゥン・ウェン・マルグさん来村、創作活動
- 2008** ● 中部小学校を増築し平成22年4月から新小学校発足を決定
平成20年 ● 副村長に総務省から派遣の戸梶晃輔さん就任
- 第3セクター2社を合併し、木島平観光株式会社が発足
- 内山龍興寺清水が平成の名水百選に認定
- 第1回村ぐるみ総合防災訓練を実施
- 村の新名物を「名水火口そば」と命名
- 新小学校の名称が「木島平小学校」に決定
- 元柳澤萬壽雄村長がルクセンブルク大国公功労勲章を受章
- 2009** ● 佐渡で放鳥されたトキが飛来
平成21年 ● 岳北広域行政組合新ごみ処理施設「エコパーク寒川」完成
- 龍興寺清水ペットボトルを商品化
- 農山村交流フォーラムin木島平を開催「農村文明の創生」提唱
- 厳選木島平米「村長の太鼓判」販売開始
- 更なる交流のため「調布・木島平交流クラブ」設立
- 南部・中部・北部各小学校で最後の卒業式
- 2010** ● 「木島平小学校」開校
平成22年 ● ルクセンブルク画家、アラン・ジョンストンさん来村、創作活動
- 農村文明塾を設立
- 鬼島太鼓が東京国際和太鼓コンテストで3度目の最優秀賞を受賞
- ファンファーレ隊が結成

木島平村70年の歩み

2005
2014

第5次総合振興計画
村民と共に歩む道



【平成22年】木島平小学校開校

2015 2024

第6次総合振興計画 これからの農村を生きる



【平成27年】飯山駅と村を結ぶ「木島平村シャトル便」運行開始



【平成27年】学校法人桐朋学園と相互友好協力協定を締結

- 2021** ● 「ヒルズタウン御殿」完成、分譲開始
令和3年 ● ゼロカーボン社会に向けて「気象非常事態宣言」表明
● 第1回「奥信濃100」トレイルランニングレース開催
● 根塚遺跡「三韓土器」を発見
- 2022** ● 村公式LINEアカウント開設
令和4年 ● 下高井農林高校そば部が全国高校生そば打ち大会団体戦二度目の優勝
- 2023** ● 木島平スキー場民営化、SBCメディカルグループ株式会社・木島平観光株式会社と調印
令和5年 ● ものづくり大学と地域活性化・教育研究充実のための協定を締結
● 姉妹都市交流「調布友の会」設立
● 村民スポーツチャレンジデー開催
● 馬曲温泉民営化株式会社BJと調印
● 馬曲川発電所設備更新
- 2024** ● 能登半島地震が発生
令和6年 ● 木島平中学校制服リニューアル
● 根塚遺跡シンポジウム開催

- 2015** ● 地域づくりが評価され「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞
平成27年 ● 日基正博氏、第6代村長に就任
● 北陸新幹線飯山駅開業
● 飯山駅と村を結ぶ「木島平村シャトル便」運行開始
● 学校法人桐朋学園と相互友好協力協定を締結
● 道の駅「FARMUS木島平」オープン
- 2016** ● 金沢大学地域連携推進センターと域学連携協定締結
平成28年 ● カヤの平・秋山郷高原シャトル便運行開始
● 飯山野沢温泉線戸那子バイパス開通
● 国道403号おちあい橋開通式
- 2018** ● 役場新庁舎建設工事安全祈願祭
平成30年 ● 馬曲温泉公園開園30周年
● 一般社団法人木島平村観光振興局設立
- 2019** ● 飯山高校野球部が甲子園出場
平成31年・令和元年 ● 台風19号襲来
● 役場新庁舎完成(工費8億1105万円)
● 木島平村新型コロナウイルス対策本部設置
- 2020** ● 新型コロナウイルスの影響を受ける調布市の学生をお米で支援
平成2年 ● 木島平中学校開校70周年
● 下高井農林高校そば部が全国高校生そば打ち大会団体戦初優勝
● 木島平村デイサービスセンター完成
● 豪雪対策本部設置



【令和3年】根塚遺跡「三韓土器」を発見



【平成31年・令和元年】台風19号襲来



【令和5年】姉妹都市交流「調布友の会」設立



【平成31年・令和元年】役場新庁舎完成



昭和30年2月、木島平村誕生以来、多くの先人の皆さんが戦後の復興から高度成長、バブル経済、バブル崩壊後と様々な時代に村の発展を支えてきました。そして今、少子高齢化が進行する中ではありますが、第7次総合振興計画に基づき、誰もが暮らしやすい持続可能な村づくりに取り組んでいます。ふるさと木島平は恵まれた自然や美しい景観、その中で育まれた文化や歴史、産業、暮らしなど様々な魅力が溢れています。一人ひとりのみなさんが、ふるさとに誇りと愛着を持ち、その魅力に更に磨きをかけてほしいと思います。そして、誰もが希望を持てる村づくりをみんなの力で進めていきましょう。

木島平村長
日臺正博

議会



住民の代表である村議会議員は9人。村議会は年4回開催される定例会と、必要に応じて開催される臨時会があり、村の基本方針や予算、条例などを審議・決定しています。村議会の役割は、限られた財源の中で住民の声を活かし、いきいきとした暮らしを実現するためきわめて重要なものです。

三役



丸山寛人副村長

日臺正博村長

関孝志教育長

村歌

栄え行け 木島平よ

作詞／小出ふみ子
作曲／川崎祥悦

一、豊かなる 千曲ちくまの流れ 西に見て

高社たかやしろ ゆるやかに たなびくところ

わが夢のふるさと 木島平よ

おお ちちははの村 花ひらく

二、清らかに 泉は湧きて ほたる飛び

大空が 澄み渡る 希望の朝は

わがちからためさん 木島平よ

おお たのもしき村 遠い雲

三、健やかに 自然の恵み 身に受けて

野に山に しあわせの 緑はつづき

わが友はほほえむ 木島平よ

おお うるわしき村 栄え行け

木島平村民憲章

私たちは、奥信濃の自然の恵みと、先人の遺徳に感じ、木島平村を明るく、ゆたかな村にするため、この憲章を定め、くらしのよりどころとします。

- ◎自然を愛し、環境をととのえ、きれいな村をつくります。
- ◎生産にはげみ、豊かで、しあわせな家庭をつくります。
- ◎心のふれあいを深め、連帯感にみちた村をつくります。
- ◎からだをきたえ、心をゆたかに、活力のある村をつくります。
- ◎教育を尊重し、知識を求め、創意にあふれる村をつくります。

村木



けやき

村章



村花



福寿草

村制施行70周年記念 木島平村勢要覧

発行日／令和7年10月15日

発行／木島平村 〒389-2392 長野県下高井郡木島平村 TEL.0269-82-3111 FAX.0269-82-4121 <https://www.vill.kijimadaira.lg.jp>

写真提供／一般社団法人木島平村観光振興局

印刷／カシヨ株式会社